

雲の形と翌日の天気の関係

1 研究の目的・調べること

雲の形と翌日の天気に関連性を調べる

2 準備するもの

費用の目安：0円

- カメラ（スマホ）
- 天気予報の記録（アプリや新聞）
- 雲の種類の図鑑や資料

3 実験・観察の手順

1. 毎日決まった時間（例：夕方5時）に空の写真を撮る。
2. 雲の種類（積乱雲・巻雲・層雲など）を図鑑で調べて記録する。
3. 次の日の実際の天気も記録する。
4. 2～3週間続け、「この雲の翌日は〇〇が多い」を表にまとめる。
5. 昔からの天気のことわざと合っているか確かめる。

4 【結果】 — 実験のあとに記入

ここに結果の写真やグラフを貼る／表や数値を書きこむ

5 【考察・感想】 — 実験のあとに記入

わかったこと・感じたこと・次に調べてみたいことを書く